

地域福祉推進役の位置づけを再確認

今、地域において人と人、人と社会の繋がりが薄れていく中、既存の制度では対応しきれない様々な生活課題が生じてきています。暮らしの困り事を支え、地域の住民の期待に応えるためにも、社会福祉協議会（以下、社協）は従来の地域住民の協働活動による地域福祉活動をいっそう強化していく必要があります。

今回の号では、地域における見守り活動等により孤立防止に取り組み、板野町民生児童委員協議会の活動と、障害を持つ方々の地域生活を支える休日レスパイトへの小松島市社協の関わりについて取り上げ、地域福祉推進役としての社協の位置づけを再確認します。

今後とも徳島県社協は、市町村社協とともに、誰もが安心して暮らせる地域づくりを様々な関係機関との連携により目指していきます。



社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
 770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内
 tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250
 e-mail: info@e-fukushi.jp http://e-fukushi.jp

地域における安心した暮らしを支えるために



声かけ見守り活動



ティッシュの仕分け作業

地域における
見守り活動

地域生活を支える
休日レスパイト



地域の消防イベントへ参加



流しそうめん体験

Rippleリプルとは、波紋のことです。この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。



とくしま県民活動プラザ
 770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
 沖洲マリンターミナルビル1F
 tel: 088-664-8211 fax: 088-664-5345
 e-mail: info@plaza-tokushima.com
 http://www.plaza-tokushima.com
 http://www.tokuvvc.jp



マスコットキャラクター プラザ



協働プランニング NIMS (ナイムス)

円滑なコミュニケーションは人々の心を捉え、日々の生活を豊かにします。今回の特集は、コミュニケーションを基本に据え、官民、男女、世代間などさまざまな形態の協働により「女性も男性も、いきいきと輝いて生きることができる社会（男女共同参画社会）」の実現を目指しているNPO法人「協働プランニング NIMS (ナイムス)」の活動をご紹介します。



和やかに
意志を持って
無理をせず
進んでいこう



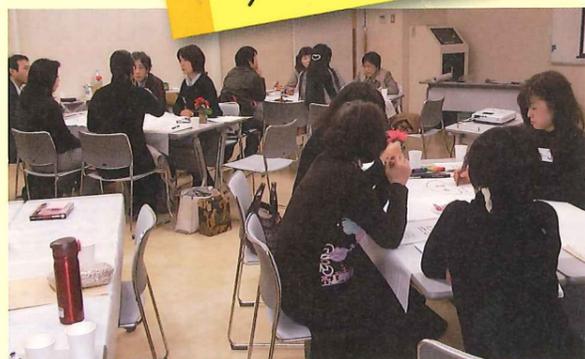
研修旅行：日本女性会議 2011 松江に参加 ～松江城の殿様と一緒に～

NPO 法人協働プランニング NIMS (ナイムス)

女性も男性もいきいきと輝く社会の実現を

コミュニケーション力をつけることは、すべての社会生活に欠かすことができません。ナイムスではアサーティブ体験講座、心がつながる対話「ワールド・カフェ」講座などを通じて、自分の要求や意見を誠実に、率直に、対等に伝えるコミュニケーション手法を広めるとともに、コミュニケーション・ファシリテーターの養成も行っています。

ワールド・カフェ講座



「ワールド・カフェ」とは、自分と相手の人権を尊重したうえで、枠にとらわれず、まるで友人の家やカフェなどでお茶を飲みながら気軽にお話しをするような感じで意見交換をするという、新しい形のコミュニケーションです。ひとつのグループで話し合われたことを次のグループへ伝えることにより、まるでミツバチが受粉していくように話題が広がります。穏やかな空間で、新しい知識や考え方が身につく、自然と結論が導かれていきます。

様々な団体と交流



視察や研修旅行を通じて国内、国外を問わず様々な団体とも交流しています。

アサーティブなコミュニケーションとは

自分と相手の人権を尊重した上で、自分の意見や気持ちをその場に適切な言い方で表現することです。アサーティブ・トレーニングの中では、実践的なロールプレイをくり返しなが、自分の要求と感情を適切に表現する方法を身につけていきます。

自尊感情回復 トレーニング ワークショップ

もっと自信を取り戻したい人、人間関係をより向上させたい人のための講座で、ありのままの自分を受け入れ、自己肯定感を身につける講座です。
中野 満知子さん
(元NPO法人アサーティブジャパン事務局長)の専門の講座で、全国の自治体や大学などで講座を開いています。



県の委託事業実施



男女共同参画キャラバン事業 北島町
～平成24年度NPO等のネットワーク化支援事業～
平成24年度は、平成24年3月に策定された「男女共同参画基本計画(第2次)」の普及啓発のキャラバンを県内5市町村で6回実施し、県への提言も行いました。

こんな人が活動しています!

イベントが人を作る!

ナイムスは、円滑なコミュニケーションが心地よい人間関係を作ることに注目し、アナウンサーの村澤さんを講師にして、平成16年5月からコミュニケーション講座を始めました。

平成17年3月に、県内101番目のNPO法人になり、協働による男女共同参画社会づくりを目指して活動を始めました。

平成22年度からは、アサーティブなコミュニケーションを取り入れ、自分を大切に思い、心地よい人間関係を作り、自信を持って自分の意志を伝えることができる「コミュニケーション・ファシリテーター養成講座」を開催しています。

平成24年度には、1000人いても合意形成できる技法として世界で注目されている「ワールド・カフェ」講座を開催し、好評を博しました。今後、防災・減災にもコミュニケーションの知識や技術を生かしていきたいと考えています。



活動して思うことは「イベントが人を作る!」ということです。また、行政と民間が協働で事業を行なうと大きな成果を上げることができるので、民間をもっとうまく活用してほしいと思います。

理事長
せお のりこ
瀬尾 規子 さん

NIMS(ナイムス)の活動にご支援をお願いします!



フリーマーケット(「とくしまNPO・ボランティアフェア」にて)

NPO 法人
協働プランニング
NIMS

理事長 瀬尾 規子

〒776-0020
徳島県吉野川市鴨島町西麻植字
青柳8番地3
TEL/FAX.088-24-7146
E-mail: kyodo@mail.nims3.com
URL: http://www.nims3.com/

実績を積み事で前進

平成7年に県の女性海外派遣事業でカナダに行って瀬尾理事長と知り合い、男女共同参画という言葉を知りました。

そんなことから、「アン会」という、カナダを訪問したメンバーで作った会の代表もしています。平成24年からはナイムスの副理事長にもなりましたが、ナイムスば法人なので、「アン会」よりも活動の幅が広がりました。

副理事長としては、活動資金が足りないと感じているので、NPO法人の収入を増やしたいと考えています。行政がやってくれるのを待つのではなく、自分たちが実績を積むことにより、様々な助成や一般の方からの支援を受けられるようになっていきたいと思います。

また、今後は行政のパートナーとして、手を取り合って活動の輪を広げていきたいと思っています。

副理事長
もとき はるみ
元木 春美 さん



コミュニケーションで豊かな暮らしを

「男女共同参画」等の県の勉強会や、海外女性派遣事業などで知り合った仲間4人が、平成16年2月に開催された「男女共同参画フォーラム in とくしま」に参加協力したことがひとつのきっかけとなり、ナイムスとしての活動が始まりました。

私は、元アナウンサーとしての経験、また米国ボストン大学大学院でコミュニケーションについて勉強したことを基に(修士号取得)、効果的なコミュニケーションの仕方、プレゼンテーションの仕方について、ナイムスの事業の中で、「コミュニケーション」の講座を担当しています。

10年前には、日本では「コミュニケーションについて学ぶ」という考えはほとんどありませんでしたが、現在では、学校、職場、地域等々でコミュニケーションの大切さが叫ばれています。

コミュニケーションの基本は、人と人が心を通わせ相互理解することです。グローバル化が進む中、日本のみならず世界で通用するコミュニケーション・スキルをナイムスの講座で身につけ、人生をより豊かにしましょう。

コミュニケーションを通して、さらに地域貢献できることを願っています。

副理事長
むらさわふみえ
村澤 普恵 さん



「楽しむ」からつながる出会い



「病気になっても、好きなときに仕事ができたらいいなって思ってね」ゆったりとした口調でNPO設立の経緯をお話して下さるのは、「NPO法人AWAがん対策募金」理事長の勢井啓介さんです。

勢井さんは自らも、がんと診断され切除手術を受けました。闘病中に会った患者との交流がきっかけで、県内のがん患者、家族らに呼びかけ、同じ悩みをもつ者同士で情報交換ができる場である「ガンフレンド」を足しました。しかし、任意団体では解決できない問題が見えてきたことから、経済的負担、症状や治療に関する情報不足、就労問題などに取り組むために、「NPO法人AWAがん対策募金」を設立しました。

取材中、勢井さんの熱い気持ちを言葉にしてくれたのが、「がん患者の就労問題」と「がん検診率向上プロジェクト」です。

病名が判明して、進行具合によっては仕事をやめざるを得ないのが、がん患者の現実です。特に、肉体労働が必須の職場の場合は、

退職するしかなくなります。中には、金銭面での負担が増え、経済的な理由から適切な治療ができないケースもあります。

そこで始めたのが、経済的支援のための「葉草栽培」で、患者さんに、体調を考慮しながら思い思いの時間帯に、農地の雑草を抜いてもらっています。

熱意をもって取り組んできた「がん検診率向上プロジェクト」では、学生を対象にがん検診の大切さを伝える“出前講座”を実施し、家族や身近な人に向けて受診を呼びかけてもらっています。この取り組みでは、昨年度の動員数が6千人に上りました。

また、イベント開催を呼びかけると、学生や大学の先生、患者会など、多くの方がボランティアに参加してくれ、「徳島ってすてもんじゃないな」と感じたそうです。

「僕は偉くもないし、賢くもないんです。外面がいいだけで、事務局がしっかりしてくれているんです」と笑顔で謙遜される勢井さん。“人が好き”という気持ちが伝わってきました。



NPO法人 AWAがん対策募金 理事長 勢井 啓介さん

〒774-0015 徳島県阿南市才見町旭越山68番地
TEL: 0884-23-3553 FAX: 0884-23-2588 E-mail: awagan@mbr.nifty.com

シリーズ・このひとから

日和佐まちおこし隊設立

特定非営利活動法人 日和佐まちおこし隊 理事長 中東 覚

仲間内でお酒を飲みながら、「こういうのがあればいいんじゃないか。」と日和佐の未来について語り合い、日和佐を盛り上げようと活動してきました。それが日和佐まちおこし隊の原点です。

活動の一つに、高齢者の自立支援を目的とした配食サービスがあります。お遍路さんを接待する「お接待の会」の女性の方々にボランティアとして協力していただき、1日45食程度の夕食を配食しています。

また、日和佐を盛り上げる活動として、親子ハイキングや、小学校高学年のクラスを対象とした「郷土史を学ぶ出前教室」を行っています。



なかひがし さとる
この「配食サービス」と「美波町の歴史・郷土史を掘り起こす」2つのグループを母体として、地域振興の仕組みを作ろうと、平成24年8月に「NPO法人日和佐まちおこし隊」を設立しました。

美波町は高齢化が進んでいますが、料理や歴史を教えたり、時には草抜きをしたり、どのような形でも一人一役を持って地域のために役に立っているという高齢者の方を増やすことが、地域の活性化につながると考えています。まちおこし隊の活動を通じて、一人ひとりが地域の

のために行動する仕組みづくりを整えていく事をめざしています。

中東覚さん
美波町の歴史を掘り起こし地域振興を図る協議会 遊元快者(ゆうげんがいしゃ)会長
地域がキャンパス推進協議会会長
—美波町の地域資源を生かして、若者も高齢者も日々目的を持ち生き生きと暮らせるまちづくりの実現のために、まちおこし活動に取組中—



日和佐まちおこし隊の思いが込められたシンボルマーク

自分らしいボラコを目指して

海陽町社会福祉協議会 地域福祉主事 戎田 佳奈

幅広く奥深い職種であるボランティアコーディネーターの職命を受け、当初は手探りの日々でしたが、子どもたちの学びを地域とともに支援していきたいと福祉教育の分野で学校との連携を強化することにしました。

まずはじめに、小中高のボランティア担当の先生と情報交換会を持ちました。各学校の取り組みや課題を共有することができ、またボランティアセンターからの情報を発信する機会にもなり、そのことによって福祉教育の講師としてボランティアの派遣や、私自身もユニバーサルデザインや車イス体験等で子どもたちに関わる機会を得ることができました。子どもたちに何を伝えるべきなのか、体験を通して充分理解をもらえただろうかと悩みは尽きませんが、少しずつクリアしながら取り組んでいます。

24年度のボランティアグループの情報交換会では、活動紹介の中で「会員に変動がなく増えない。新しい仲間を増やしたい」という共通課

題が出ました。意見交換をする中で「年に一度子どもから高齢者までが集い、ふれあう機会を作ろう。自分たちの活動を紹介する場としながら、若い仲間をゲットしよう!」と前向きな意見が出ました。今後は、みんなの思いが形になるようボランティアコーディネーターとして努力していきたいと思っています。

戎田 佳奈



高齢者疑似体験

車イス体験

“プラザまつり”出展(店)者を募集します

今年も“とくしま県民活動プラザまつり”を開催します。広報宣伝、交流、人材獲得の機会として出展(店)しませんか。テーマ「次世代にNPO・ボランティア活動をつたえよう」
 開催日時：平成25年9月8日(日) 10:00~15:00
 場所：とくしま県民活動プラザを中心とした、沖洲マリンターミナル内
 内容：・展示 ・ステージ発表 ・出展 ・活動報告
 参加費：無料(「ゆめバンクとくしま」へ収益の15%のご寄付をお願いします。)
 申込期限：・1次募集 7月9日(火)~7月24日(水)
 ・2次募集 8月1日(木)~8月12日(月)

※詳細については、とくしま県民活動プラザホームページをご覧ください。 <http://www.plaza-tokushima.com>

NPO・ボランティア おためし体験に参加しませんか

NPOやボランティア活動に興味がある方、参加してみたいけどなかなか参加するきっかけがないという方。県内で活動している団体のイベントを気軽に体験できる「おためし体験」に参加してみませんか。プラザ職員も共に参加します。現在募集中の活動については、プラザにお問い合わせください。
 <おためし体験を受け入れてくださる団体さんも募集中>
 対象活動：プラザ登録団体が行う社会貢献活動
 届け出：本事業に協力できる団体は、申込用紙に記入の上、プラザまで提出して下さい。

平成25年度福祉職場体験参加者募集中

徳島県内の福祉職場で仕事の体験ができます。福祉の仕事に就きたい方、資格を活かしたい方、求職活動中の方、福祉の仕事の適性を知りたい方、職場体験に参加して、明日の自分につなげましょう。
 参加対象：福祉・介護分野への就職に関心をお持ちの方
 体験施設：徳島県内の高齢者、障害者、児童(保育所をのぞく)関係の施設
 体験期間：原則として5日以内(高校生・大学生は3日以内)
 体験内容：受け入れ施設の体験実施計画書による。1日5~6時間程度
 参加費：無料 問い合わせ：福祉人材センター TEL:088-625-2040



【平成25年度】

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

Aプランは、死亡1,200万円、入院6,500円、通院4,000円、賠償責任5億円(限度額)を補償



特徴は

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

年間基本タイプ Aプラン...300円 Bプラン...450円
 保険料 天災タイプ Aプラン...460円 Bプラン...690円

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
 受付時間：平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
 (引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社

全国180万人 加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

フードバンクとくしまが始まります! ~社会貢献・就労支援へ向けて~



◆まずはじめに...

フードバンクとは、「もったいない」という精神のもとに企業やお店から品質に問題がないにも関わらず販売できない食品を受け取り、食べ物を必要としている方や福祉施設などに無償で提供する活動の事です。

~フードバンクとくしまの活動~『もったいない』から『ありがとう』へ

●「フードドライブ」の箱を設置しています

※「フードドライブ」の箱とは寄付していただく食品を入れる箱の事です。

現在の箱の大きさは高さ13cm、縦26cm、横37cmです。

・平成25年6月1日現在の設置場所:

鳴門市(リハビリステーションネトレン撫養)

徳島市(リサイクルショップ a・ya <エイ・ヤー>、スター急便沖洲店、とくしま県民活動プラザ、ふく利(沖浜店、小松島店)、晃生自動車、新居建設運輸、今切石油)

・集まった食品はフードバンクとくしまが回収します。

・寄付していただいた食材は必要とされる方や施設にお届けします。

※受け取り施設等につきましては事前に団体登録が必要です。

●フードバンクとくしまの日

みなさまのお宅にある食材や調味料などをお持ちください。

・持ってきていただく食品について

原則として賞味期限が1ヶ月以上あるもの(缶詰、お米、お菓子、調味料など)それ以外の食材につきましてはご連絡ください。

実施日：毎月第4土曜日

場所：〒771-0130 徳島市川内町 加賀須野455-9 (株) トート内

時間：午前の部 9:00~12:00

食品を持ってきていただく。(寄付：企業、一般の方)

午後の部 13:00~15:00

集まった食品を受け取り施設に取りに来てもらう。

※フードバンクの日には実施場所に「のほり」をだしますので目印にしてください。

~フードバンクとくしまからのお願い~

●「フードドライブ」の箱の設置場所募集中(上記の説明をご覧ください)

・一般市民が来られる窓口をお持ちの店舗や事務所などを募集しています。

・集まった食品につきましては定期的にフードバンク事務局が持ち帰ります。

・設置日、回収日につきましては相談に応じます。

●ボランティア募集中

・フードバンクとくしまの活動をお手伝いいただけるボランティアを募集しています。

◆さらに、フードバンクとくしまが就労支援につなげていけるよう、中間就労支援の場になりたいと考えています。不明な点は下記までお問い合わせください。

◎お問い合わせ先

フードバンクとくしま設立準備会(担当:杉山)

Tel:088-666-2175(平日9時~18時)

Fax:088-666-2176

◎ブログ開設しました

<http://foodbank-tokushima.blogspot.jp/ot.com/>

facebook フェイスブック「フードバンクとくしま」はじめました。

ハートリレー No.22 瀬戸さんから源さんへ



みなもとすみか

源 純夏さん

水辺をもっと楽しく安全に!

源さんとの出会いは、環境啓発活動でした。初めてお会いした時も、それから、彼女と同じ場所にいると不思議な感覚になります。周囲に対する仕草や言葉の1つ1つがその場の空気をぐっと濃密にさせ、その場にいる人たちとの距離が縮まり、自然と笑顔が咲き始めます。それはエネルギーに満ちあふれた渦に吸い寄せられるような感覚です。

競泳のオリンピックメダリストでもある源さんは、現在、プールだけでなく、海や川といった、私たちにとってかけがえのない「水」、そして「水辺」を守るため、様々な活動もされています。その中のひとつが「ライフセービング」です。彼女の声かけで、水辺での事故をなくすことを目的とした監視・救助活動、水の安全に関する教育活動を定期的に実施、小松海岸のビーチクリーンなども行っています。

常に先頭に立って新しいことに取り組む姿勢、周りの人たちを引き寄せるパワーで、徳島の水辺にたくさんの笑顔があふれるように、源さんの活動をこれからも応援していきたいと思っています。

せとめぐみ 文・瀬戸恵深





新任スタッフ紹介します！ 1.趣味 2.特技 3.意気込み

事務局長 増野 朋也

1. ゴルフ
2. キャリア30年で100タタキ
3. 楽しく、明るく！

次長 掛尾 敏史

1. 旅行
2. なし
3. 「とくしま」も自分も元気になるように

フランニングマネージャー 吉野 育也

1. ゴルフ
2. 子どもたちと接すること
3. いろいろな活動に参加して、たくさんの人に会いたい

フランニングマネージャー 佐藤 南海

1. シュノーケリング
2. 趣味の域を出ませんが絵を描くこと
3. 「人との出会いは宝物」を日々実感しています

フランニングマネージャー(県社協) 重松 聡彦

1. ドライブ
2. とくになし
3. プラザに帰ってきました よろしくお願ひします

スタッフ 石井 理恵

1. お菓子作り
2. プリザーブドフラワーアレンジ
3. たくさんの出会いや交流ができる様に取り組みたいです

スタッフ 山本 有知

1. 音楽鑑賞
2. なし
3. 皆さんのお役に立てるよう頑張ります

スタッフ 勝浦 大樹

1. 釣り
2. バスケットボール
3. プラザにご来館の際は、気軽に声をかけてください

スタッフ 植田 彰弘

1. 写真撮影(皆さんの活動写真を撮りたい)
2. 田んぼの草抜き
3. いろいろな活動を通して「とくしま」を盛り上げていきたい

編集後記

日々濃くなる木々の緑、マリニピア沖にきらきらと光る海を見ながら出勤し、春は気持ちよく新しい1日のスタートを切ることができます。4月からプラザのスタッフもがらりと入れ替わり、ニューフェイスが増えました。慣れない仕事に戸惑うこともあり、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、何事も勉強。スタッフ全員、プラザでの人との出会いを糧に成長していきたいと意欲に満ちていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。(佐藤)

とくしま県民活動プラザ

●プラザは、ボランティア・NPO・地域づくりなど、県民の皆さんの自主的、自立的活動を総合的に支援する拠点として平成14年にオープンしました。運営は(特非)とくしま県民活動プラザと(社福)徳島県社会福祉協議会・とくしまボランティア推進センターが協力して行っています。

4つの機能で応援

1.情報収集・提供
団体のイベント開催チラシや会報、活動がわかる情報を広く発信。また、企業・行政の助成金・各種研修会などの情報や関連図書・ビデオも収集しています。(ホームページ、広報誌、図書コーナー、団体情報、各種助成情報)

2.活動・交流の場
グループでの会議や活動のPRに必要なチラシやポスターなどの作成のため設備を整えています。(ミーティングコーナー、会議室、パソコン、コピー機、作業室)

3.相談・支援
ボランティア・NPOに関する質問・ご相談にお応えします。

4.人材育成・研修
団体が力をつけるための研修会やイベントを実施します。(各種講座、NPOフォーラム、NPO・ボランティアフェア)

●プラザ開館時間
開館時間:10:00~18:00
【研修室利用時間】
火曜日~土曜日:10:00~21:00
日・祝日:10:00~18:00
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始



●公共交通機関をご利用の場合●
JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、
・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリナーミナル」下車すぐ
・「沖洲・南海フェリー前(マリニピア経由)」行きに乗車「マリナーミナル前」下車すぐ

制度の狭間を支える住民参加型在宅福祉サービス



住民参加型在宅福祉サービスは、支援を必要としている方々が「自分たちの住むまちを自分たちの手で住み続けられるようにしたい！」を形にした住民自身による地域福祉活動です。
サービスを利用する人も提供する人も同じ地域に住む住民同士。みんな互いに助け合っている、という趣旨で行われています。

活動の5つの特徴

1 制度にとりわれない地域で当たり前の暮らしを支える「よろずなんでも」活動

2 「助けられたり、助けたり」支えあいの活動

3 「どこでずっと暮らしたい」と思えるまちづくりを目指す活動

4 会員制と有償制2つの仕組みで理念を支える活動

会員制	有償制
サービスの利用者、提供者は共に団体の会員として登録していただきます。助け合いの精神にのっとり、利用者が提供者になるときもあります。	サービスは非営利ですが、有償で提供します。これは、利用者が遠慮なく、提供者に頼れるようにするためのもので、営利のために徴収するものではありません。

5 多様な運営体制による活動

具体的なサービス

- ・家事援助(掃除・ゴミ出しなど)話し相手・移送サービス・配食サービス
- ・子どもの一時預かりなど制度の狭間にある困り事にも対応します

とくしま住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会

昨年度、県内における住民参加型在宅福祉サービス団体の情報共有や相互研鑽を図るゆるやかなネットワークとして、「とくしま住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会」が発足しました。県内におけるサービスの推進と普及、そして、地域の困り事の解決に向けてつないでいく役割を果たします。現在の登録団体は、連絡会HPで紹介しています。それぞれの地域の困り事に対応いたします。 URL <http://www.tks-jusaren.org/>

ありがとうございます

賛助会員

- 名鉄観光サービス株式会社徳島支店 ●株式会社ダイヤジム ●株式会社アルファ・システムズ ●協業組合徳島印刷センター ●有限会社ライトスタッフ ●有限会社三井サービス ●篠原石油株式会社 ●株式会社ふくなが ●株式会社教育出版センター ●優弘会計事務所 ●三信電気株式会社徳島支店 ●有限会社KENデザイン事務所 ●株式会社センチュリープラザホテル ●徳島ターミナルビル株式会社 ●有限会社紙喜紙文具店

預託

- 徳島県調理師共栄会様より、松茂町老人福祉センター松鶴苑利用者へ日本料理のご提供 ●ホテルクレメント徳島様より、県内老人福祉施設等利用者100人をピアガーデンへご招待 ●あとリエ・こでまり坂内定比古様より、県内老人福祉施設へアンティーク・オルゴール訪問演奏会のご提供

徳島県医師会は「禁煙」を推進しています！



一般社団法人
徳島県医師会
会長 川島 周
徳島市幸町3丁目61番地
TEL 088-622-0264

CLEANUP 吉野川をきれいに！ 参加団体、募集中。

吉野川交流推進会議
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
徳島県民サービスセンター内
TEL 088-621-2743
FAX 088-621-2822
E-mail office@yoshinogawa.org
http://www.yoshinogawa.org/

これからも、いつまでも
頼りがいのある銀行として、
地域のみなさまとともに歩んでまいります。

みなさまの「こころ」のメインバンクへ



環境にやさしい銀行を目指し
環境保全活動に取り組んでいます。



ISO14001認証取得
(登録範囲は本店)
つぎあえばとくぎん
徳島銀行
http://www.tokugin.co.jp



人と地域 繋がりを大切にしたい地域づくりを

休日レスパイト「ハヒフヘホ」

「ハヒフヘホ」は平成12年2月にスタートしました。きっかけは小松島市社協に相談して、専門職の協力が必要だと助言をいただいたことでした。半年間の準備期間中には苦勞がありました。障害のある子ども達を支える様々な専門職の方とつながりを持つことができ、幅広い年齢層のボランティアにも参加いただけるようになったことが、今になれば大変良かったと思います。」と代表の長樂千英子さんは、当時のことを話してくれました。

「ハヒフヘホ」では毎月1回小松島市内の知的障害や自閉症のメンバーが地域のボランティアと一緒に季節の行事やレクリエーション、創作活動などを行っています。レスパイトとは「息抜き・休息」という意味で、家族の介護や育児疲れの負担解消と休息の機会を提供し、地域社会のみんなで障害児や家族を支えていくという支援を目的としています。



- ハートな心の
- ヒとびと
- フレあい
- ヘへと
- 笑いある
- ホがらかな会



パラシュートゲーム



福祉祭りに参加するメンバー

障害のある人々の地域生活を支援する

ボランティアの成長を促す応援団

小松島市社協
ボランティアコーディネーター
村上直美さん

小松島市社協としては、参加するボランティアへの支援と、場の提供を行う役割を担ってきました。障害特性等に伴い、時にはボランティアだけでは対応することが難しい場面もあるので、専門知識を持つ施設職員のサポートがあるのは、ボランティアにとっても、保護者にとっても安心感に繋がっています。

活動を重ねる中でメンバー同士が助け合う姿や、メンバーを見守るボランティアの様子に成長を感じています。活動後の振り返りは、情報共有や専門職から様々な助言を受ける機会になっています。中でもメンバーの成長を語り合えることがそれぞれの立場からやりがいとなっています。

現在、小松島市社協は活動がスムーズに行くようアドバイスや調整を行い、ボランティアの成長を促す応援的な役割を担いながら一緒に楽しんでいます。民生委員児童委員や関係機関そして、地域住民にこの活動を広く周知、協力者を求めていくことで、障害に対する理解を深め、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを進めたいと思っています。

板野町民生児童委員協議会の活動

日常生活支援品の配布による見守り声かけ運動

地域社会のコミュニティが薄れていく中、気軽に支援が得られない、求められないことから、生活課題を抱え込んでしまう事は誰にも可能性がある問題です。

板野町民生児童委員協議会（以下、板野町民協）は、活動の一つとして要援護者（高齢者等）の自宅を訪問し、一箱の箱ティッシュの配布することをきっかけに安否確認として見守り声かけ運動を行っています。

毎月行われている定例会が始まる前に、高齢者福祉部会において配布する箱ティッシュを地域の対象者数に仕分け作業を行い、各担当地区民生委員は定例会終了後、見守り声かけ運動を行っています。配布対



高齢者福祉部会により地域毎に仕分けられた箱ティッシュ

象者は、担当地域の原則70歳以上の独居高齢者、または70歳以上の高齢者のみの世帯で、支援を必要としている方です。

高齢者福祉部会の鏡部会長は、日常的に使われる箱ティッシュの配布をきっかけに、ともすれば孤立しがちな一人暮らしの方々が、話し相手が欲しいという気持ちから、この訪問を心待ちにして喜んでくれることにやりがいを感じているそうです。また、訪問を断られることに苦勞することもありますが、そういった方が地域に住んでいるという実態把握にもつながり、今後



担当地域の箱ティッシュを持ち帰り見守り声かけ運動へ

の課題として考えていく必要性を感じておられます。一人暮らし高齢者の増加を背景とした孤立防止による活動の必要性から、今年度より、月1回の見守り声かけ運動を月2回に増やします。小さなきっかけから、誰もが安心して暮らしている地域づくりにつながっています。



高齢者福祉部会 鏡和博 部会長

